

新しい取組も、みんなで  
取り組んでみればできるかも!

## 参考にしたい 新たな取組み

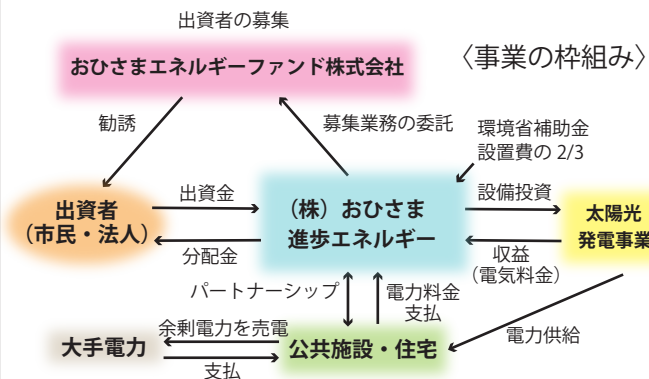
私たちの身の回りの風景は、復興の歴史の成果でもあります。酪農や機械産業など、最初は、新しい取組でした。どんな新しいことに取り組めるか、他での事例にも学びたいものです。

「地域住民がエネルギーを自分の意思で選びとる」という考え方にに基づき、住民自身が電力供給に関わる取組が「コミュニティパワー」です。再生可能エネルギーは社会制度や自然環境に左右されやすく、簡単ではありません。しかし、発電により生まれた便益を地域に還元し、住民が主体となることで地域の自立性が高まる効果を期待し、各地でコミュニティパワーの導入が進んでいます。

### おひさま

エネルギーファンド  
in 長野県飯田市

2004年、エネルギーの地産地消を目的としたNPOを母体として、「おひさま進歩エネルギー」という地域の電力会社が作られました。市民の出資により、太陽光発電事業や省エネルギー事業をはじめ、行政とも上手に連携し成功を収めました。2007年に「おひさまエネルギーファンド株式会社」を設立すると、バイオマス事業や他地域の再生可能エネルギーへ投資するなど、活動の幅を広げています。



若者の居場所づくり  
まちなかから、若者の姿があまり見えなくなっているのは全国的な状況です。しかし当の若者たちは快適で面白い居場所があればと願っていることも少なくありません。多世代交流を望んでいる若者もいます。そんな居場所づくりが始まっています。

### 高校生の空き家活用

千葉県立佐原高等学校の有志は、高校生による高校生のためのまちなかの居場所づくりを行っています。市所有の空き町家で試験的に活用を試みました。ある時は一時間一本の電車の待ち時間にふらっと来て自習やおしゃべり、またある時は演劇部や音楽部の公演会、将棋部が地域のおじいさんたちと将棋指し：使い手によって使われ方は様々です。この活動に関わっていた生徒は今も、通学路を迂回してでもその町家の前を通っています。



▲高校生の居場所「さわらぼ」と活動に関わる生徒 & 先生

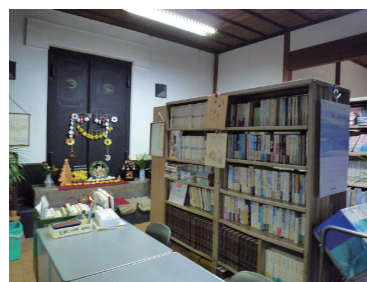
### おばあさんの古本文庫



▲素敵な看板！

栃木県の栃木駅からほど近い場所に、おばあさんが営む「おたまじやくし文庫」があります。子どもから高校生まで、自由に勉強や読書ができるスペースです。おばあさんは家の奥でパソコンを使ってボランティア活動をしていて、子どもたちは安心して居座ることができます。

おばあさんの娘さんが高校生の時に友達と勉強するために使用していたのですが、今では色んな学生の居場所として、地元でも有名になりました。卒業生の方々も時折顔を見せに帰ってくる、懐かしい場所になっています。



▲居心地の良さそうな、中の様子

### まちなかプランづくりの これまで

小高区地域協議会の提案を受けて、小高区住民が主体的にまちづくりに関わるために、二〇一四年冬、ワーキンググループが発足しました。

ワーキンググループでは、文献・インタビュー・景観調査をふまえて、まちなかの意義や歴史、震災前の風景を話し合ってきました。

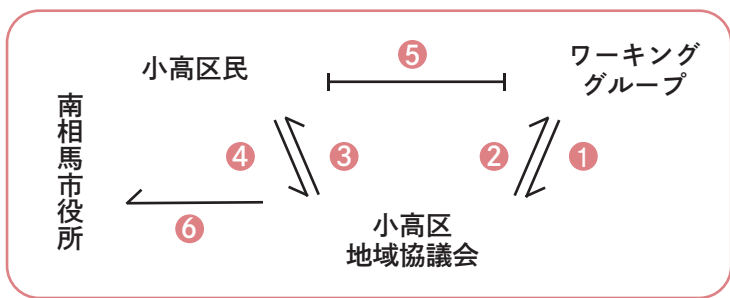
特に、まちなかの店舗や事業所や施設の数々が、現地で再開したり、新規開業したり、他の場所とてかく事業継続している姿には、改めてまちなかの意義を感じました。

二〇一五年七月四日には、小高あるぎを開催しました。

3B+1さんによる第二回「南相馬の未来会議」小高の未来をみんなで考えるワークショップにも参加しました。

本冊子は、それらの成果を「まちなかプラン」案としてまとめたものです。

### まちなかプランづくりの 体制



ワーキンググループは、小高区民、南相馬市民、市外からの応援メンバーなどで構成されています。

小高の復興に想いがある方なら、どなたでも大歓迎です。どうぞご連絡ください。

### まちなかプランづくりの 今後の予定

小高区地域協議会とワーキンググループによる「まちなかプラン」案を、小高区民のみなさまに提案します。

みなさまからの意見を反映させて修正し「まちなかプラン」にします。それを南相馬市役所にも届けます。



ワーキンググループと一緒に「まちなかプラン」を考えませんか？どなたも大歓迎です。ぜひ、ご参加ください。

### 小高地域構想ワーキンググループ (小高区地域協議会)

東京大学工学部都市工学科地域デザイン研究室  
03-5841-1845 odaka@td.t.u-tokyo.ac.jp  
南相馬市小高区地域振興課  
0244-44-6716